

AZUMINO GLASS STUDIO



あづみ野ガラス工房新規採用募集

あづみ野ガラス工房では、ガラス作家として活動したい、将来独立して自工房を持ちたい、経験を積んで作家としての幅を広げたいという方の募集をいたします。

当工房では、勤務時間内に工房業務と個人制作の両時間があることが特徴です。

工房の仕事をしながら自身の制作も積極的に行え研鑽を積めることから、卒房後多くの方が作家として広く活動されています。

豊かな自然あふれる安曇野で、作家として制作活動をしたい方のご応募をお待ちしています。

- ・ 応募資格 国内ガラス教育機関の今年度卒業予定者、または同前年及び前々年卒業者
(個人の制作スタイルは問わないが基礎的な吹きガラス技術を持つものとする)
- ・ 採用者数 2名程度
- ・ 応募方法 **2024年11月29日(金)**までに右記オンラインフォームにて応募
(郵送による応募を希望の場合、工房まで要問い合わせ)
- ・ 選考方法 応募内容及び面接等により総合的に選考(簡単な実技審査含む)
応募者多数の場合は書類にて一次選考、面接にて二次選考とする
- ・ 面接日時 2024年12月8日(日) ビレッジ安曇野にて

オンライン応募フォーム

- ・ スマートフォン等からでも応募可能
- ・ QRコード読み取りもしくは下記URLから
フォーム開き、各項目に入力ください

<https://forms.gle/igvjeucMxNZN2c3fA>



1

工房紹介

あづみ野ガラス工房とは

あづみ野ガラス工房は、ガラス工芸作家を目指す若者の作家活動の第一歩の拠点の場、研究機関として1985年(昭和60年)に設立されました。地域に根ざした特色のある工芸文化を作り出し「あづみ野ガラス」として発展させることで、多くの方にガラス工芸を広めることを意図しています。毎年安曇野市から補助金をいただき、工房で研鑽する若手作家の支援として使われています。工房は今年設立40年を迎え、次年度には市内近代美術館での大規模な記念展示会も開催を予定しています。記念展ではこの工房を巣立った多くの作家とともに、在籍中のスタッフの作品も展示されます。



工房の歴史

1978年多摩美術大学に教育機関として日本初のガラスコースが設立されました。当時ガラスコースの卒業生にとってガラス工房を所有することは、その多大な費用と時間を考えると大変困難でした。このような状況下で作家志望者が独立できるまでを支援することを目的とした「多摩美術大学クラフト研究会」が設立され共同工房構想が実現の道を歩き始め、設立7年目にして、旧豊科町の「新農業構造改善事業」と出会い、1985年に念願の共同工房「あづみ野ガラス工房」が実現しました。

ガラス工房の建物は旧豊科町が建設し、中の設備は多摩美術大学卒業生、大学側諸先生、在学生で構成される研究会がギャラリーなどでの作品を販売した売上げを資金とし、初代工房スタッフの労力により設置されました。その後、設立目的を達成した「多摩美術大学クラフト研究会」は工房設立10周年を機に解散し、現在は多摩美術大学が「あづみ野ガラス工房」を後援しています。

現在に至るまで「あづみ野ガラス工房」で制作をした、たくさんのガラス作家が日本のみならず国外へ活動の幅を広げています。



工房での主な業務 プロダクションの日と個人の日

あづみ野ガラス工房では、工房の運営業務を行うプロダクションの日と作家として自身の制作を行う個人の日があります。

自分の制作が業務時間内にできるということが、この工房の大きな特徴です。

繁忙期などの一部の期間には制約がありますが、年間の三分の一程度の日数が個人制作の日として設けられています。この時間は在籍年数に関係なくスタッフ全員が均等に使えるよう割り振られています。

	早出 8:50~	出勤 9:00~	午前 10:00~12:30 (個人の日は 10:00~13:00)	お昼休み	午後 13:30~16:30 (個人の日は 14:00~17:00)	16:30~18:00	チャージ 18:00~20:30
プロダクションの日	溶解炉／徐冷炉の起動（当番制1人）	体験研磨／SHOPの掃除／吹き場の準備／検品など	・工房作品制作 ・作品、加工研磨 ・設備メンテナンス ・接客、体験 - など	接客、電話対応	・工房作品制作 ・作品、加工研磨 ・設備メンテナンス ・接客、体験 - など	・工房作品制作 ・事務仕事 ・作品の検品 - など	週に一回程度、チャージを行う（当番制1人） 加えて、トイレ掃除や吹き場の掃除を行う
個人の日			・個人作品の制作 （一名はアシスタント）		・個人作品の制作 （一名はアシスタント）		

1日の主な流れ

プロダクションの日

- ・工房作品の制作およびアシスタント
- ・ガラス体験インストラクター
- ・受注品の制作
- ・販売業務
- ・商品開発
- ・その他設備メンテナンス含む工房業務全般
- ・安曇野市との提携プロジェクト業務

個人の日

- ・自身の作品制作
- ・割振時間外はアシスタント兼工房業務
- ・吹きガラス以外での制作も可
- ・製作時間中もガラス体験の受入れはある
- ・GWや夏休み等の繁忙期は個人の日は無し
- ただし勤務時間外の設備使用は通年可能

2

プロダクションの日

工房運営を学び 制作技術を身につける

あづみ野ガラス工房ではその運転資金を、主に自工房作品の販売、ガラス体験による収益でまかなっています。

工房作品の制作は、たくさんの同じものを作ることで、基本的な吹きガラス技術の習得もでき、作家としての技術研鑽にも繋がっています。

また、スタッフ自身が運営に携わるので、卒房後に自分の工房を持つ際の知識や経験を身につけることができます。

勤務はシフト制で、作品は1年目から5年目までスキルに応じて担当を決め制作をしています。制作以外の業務も段階的に工房運営について学べるよう、順に割り振られています。また、新商品のデザインなども皆で相談しながら行っています。

技術力アップのために卒房生を招き特別指導を受けることも可能です。卒房生の中には吹きガラス以外の技術を中心に制作活動されている方もいるため、今までにバーナーワークやコールドワークでの実施もあります。





業務としての作品制作

工房作品とは

● 受注作品の制作

現在いるスタッフがデザインした商品だけでなく、過去に在籍したスタッフが発案した商品を、改良を重ねながら作り続けています。

35年前から残っているベストセラー商品から、新しい感性で作られた新作まで、あづみ野ガラス工場の「今まで」と「これから」がその作品の中には刻み込まれています。

この制作では量産の技術が身につきます。同じものを100個作るということは、簡単そうに見えて実は難しいことです。また、商品ですので品質の維持も必要です。使い心地や安全性なども考慮するなど、この制作を通して実地で学ぶことができます。

工房では安曇野市や個人の方からの受注を請け、特別に作品を作ることがあります。

この制作では、お客様の希望をどう形にするか、期日までにどう生産のスケジュールを組むか、制作費の算出など、オーダーメイドでの作品制作に必要な経験を身につけることができます。

自分で全て考えたデザインと、他の人が考えたデザインを形にすることは異なります。経験することで理解につながることは多いです。そこから自身の作品の幅が広がることもあります。また、ガラスの制作知識がない人に、どのような説明や提案ができるかなども、この仕事を通して経験することができます。



3

個人の日

作家としての制作時間

「自分の作品を業務時間内に制作できる」ということが、この工房の大きな特徴です。この時間を有意義に使い、一人一人が自分自身の制作に向き合い工房を出た後の独立のため日々研鑽を積んでいます。いままでに49名のスタッフが在籍しここを巣立っています。

工房作品の制作では吹きガラスがメインの仕事ではありますが、個人制作ではそれ以外にも、コールドワークやキルン、バーナーワークなど、個々の表現に合わせ各自が自由に製作しています。この個人の制作と向き合う時間は他多く設けられています。実際に卒房した作家の中にはバーナーワークやコールドワーク、積層ガラスの作品などを中心に制作する人もいて、その表現は多岐にわたります。吹きガラス以外は勤務時間後の工房使用に制限はなく、自由に使えます。

また、通常の休み以外に個人の展示やワークショップ参加等で使用可能な休みが5日間あります。その他、公募展への出品費用もその一部を工房が負担する制度などもあり、作家としてのチャレンジを後押ししています。



HOT WORK

- ・ガス溶解炉（120kg） 2基
- ・グローリーホール
 - φ510mm×800mm 1基
 - φ220mm×600mm 1基
- ・電気式徐冷炉 2基
- ・多目的電気炉 2基
- ・ベンチ 2台
- ・七宝焼電気炉 3台
- ・ピックアップキルン 1台
- ・パイプクーラー 1台
- ・酸素バーナー 2台
- ・ハンドトーチ 2台

溶解炉は2基を交互に使用する事で通年を通してホットワークの作業が可能となっている。

業務時間以外も設備は自由に使用できるが、終業後の吹きガラスに関しては事前に相談が必要。大型の多目的電気炉の使用は事前にスケジュールの相談が必要となるが、繁忙期以外は個人制作での使用が優先される。

COLD WORK OTHERS

- ・平面研磨機 2台
- ・両軸研磨機 2台
- ・小割りダイヤモンドソー 1台
- ・循環式サンドブラスト 1台
- ・ベルトサンダー 1台
- ・ウォーターサンダー 1台
- 専用スペースあり
- ・卓上ボール盤 1台



4

雇用条件など

- ・雇用形態 社団法人豊科開発公社の嘱託職員となる
- ・任期 3年以上5年以内（基本的には5年満期の在籍希望者を優先とする）
- ・業務内容 工房商品の開発及び制作販売・ガラス体験の指導・工房運営等
- ・個人研究 工房業務以外の作家活動のための制作時間を「個人制作」とする
1年間の総制作時間のうち3割程度とし、工房の運営状況に応じてその割合は変動する（最大5割まで）
工房内設備は就業時間外も使用可能
- ・給与 月額190,000円
- ・賞与 なし・但し個人作品の売上を4か月ごとの年3回に分けて報奨として支払われる
個人作品として制作したものを工房の併設ショップ内で販売も可能
その際売上の2割は工房へ販売委託料として返還され、残り8割と工房外での展示売上などが4ヶ月毎にまとめて支払われる
- ・福利厚生 社会保険・厚生年金・退職金共済・長野県町村職員互助会・安曇野の里慶弔規定に加入・住宅手当あり（家賃の半額／上限25,000円）
- ・休日休暇 年105日シフト制。別に展示・研修を目的とする休暇年5日
- ・勤務時間 9時～18時（ただし月数回ガラス材料投入のため2時間程度の残業あり／当番制）
- ・その他 設備使用料(月額5,500円／個人作品材料費として)を負担する

問い合わせ先

〒399-8201 長野県安曇野市豊科南穂高5076-17

社団法人豊科開発公社 あづみ野ガラス工房

TEL&FAX 0263-72-8030 / mail@azumino-glass.com